

# NKT-R3

## Amateur UHF Transceiver

日本語簡易マニュアル：NKT-R3(JA/ JB)をお買い上げ頂きありがとうございます。  
 ■NKT-R3(JA)モデルはアマチュア無線局免許を取得後に合法的に運用が可能なモデルです。  
 ■NKT-R3(JB)モデルは海外市場をターゲットに製作されているものです。  
 JBモデルを日本国内で運用目的に使用すると違法となる場合がありますのでご使用や所持には十分ご注意ください。  
 ■本解説内容について、当社は責任を負うものではありません。

基本的な操作	
電源	本体横のオレンジ色ボタンを長押しすると電源の入切りが可能です
ダイヤルを回す	本体上部右側の【ダイヤル】を引き上げるとロックが解除されます。 調整しない時は押し下げて元に戻します。
ボリューム調整	[VOL]キーを押し【ダイヤル】で調整します。 [VOL]キーを再度押すと調整を完了します。
周波数調整	【ダイヤル】を上引き上げ後、左右に回します。 ※[F]キーを押してから回すと1MHz単位で調整ができます。
VFO/メモリー切替	[V/M]キーを押すと交互に切替わります
出力切替え	[TXPO]キーを押すと出力が HI(約1.6~2W) / LOW(約0.5~1W) に切替わります
周波数ステップ切替	[TXPO]キーを長押しすると 5/6.25kHzに交互に切替わります。
モニター	[MONI]キー(本体横)を押している間、スケルチが解放されます。
キーロック	[SCAN]キーを長押しすると "LAMP/モニター/PTT/電源以外のキー" が無効/有効になります
リセット	[MODE]キーを押しながら電源を入れると工場出荷状態に戻ります

その他	
ピー音送出	PTT送信時に[MONI]キー(本体横)を押すと"ピー音"が送出されます。 ※一部の海外でレピーターを起動させる音です。日本では使いません。
懐中電灯機能	[LAMP]キーを押す毎に本体上部の白色LEDが点灯/消灯します。 電源オフ時は長押しして点灯します。
スキャン	[SCAN]キーを押すとスキャンを開始/終了します。 範囲設定ができないためVFOモードでは無効です。 特定目的のメモリー時には有益かと思われます。
アラーム	[ALARM]キーを押すと "メモリー000" に設定された周波数でアラーム音を送信します。 PTTを押すとアラームが解除されます
ラジオ機能	[RADIO]キーを押すと76~101MHzのFMラジオを聴取できます。
ローバッテリー表示	バッテリー電圧が約3.4V以下になるとアイコンが点灯し10秒毎に警告音が鳴ります。 アラームが鳴ったら速やかにバッテリーを充電するか交換してください。 約3.3V以下になると"LOWBAT"表示が出て電源が切れます。

セットモード	
【MODE】キーを押して【ダイヤル】で項目選択します。目的の項目が表示されたら[F/ENTER]キーを押し、更に【ダイヤル】で値を選択します。【PTT】を押すと各モードから抜けます。	
01:DW	デュアルワッチ機能：OFF/ON VFOでセットされた周波数と指定したメモリー周波数を0.5秒毎に交互にスキャンします。 スケルチが開くと停止します。閉じると約12秒後に再スタートします。
02:RX-CODE	受信時のトーン(CTCSS)周波数/DCS番号をセットします。
03:TX-CODE	送信時のトーン(CTCSS)周波数/DCS番号をセットします。
04:SQL	スケルチ機能：0(解放)~9まで
05:BCLO	ビジーチャンネルロックアウト：OFF/ON 相手が話している間(スケルチが開いている状態)は送信が禁止されます。
06:LIGHT	バックライト連続点灯：OFF/ON ONにするとバックライトが連続で点灯します。 常時オフには設定できません。
07:SAVE	バッテリーセーブ：OFF/ON ONにすると受信時のバッテリー消費を抑えます。 受信や操作をすると自動解除になります。 10秒間受信も操作もしないと自動的にセーブモードに復帰します。
08:K-TONE	キー操作音：OFF/ON 操作時のピープ音をオンオフします。
09:APO	オートパワーオフ：OFF/ON ONにすると最後の操作時から30分後に自動的に電源が切れます。
10:TOT	タイムアウトタイマー：OFF/30/60/90/120/150/180(秒) OFF以外の数値を指定すると、指定秒数以上の連続送信が禁止されます。
11:VOX	VOX(自動送信)機能：OFF/1~9(感度レベル) OFF以外の数値を指定すると、指定した感度以上の音量でマイクに向かって話すと自動的に送信されます。
12:POWER	送信出力：HIGH(約2W) / LOW(約1W)
13:HLF-DEV	ハーフデビエーション：OFF/ON 変調率を下げます。一般アマチュアバンドではオフにしてください。 特小機などのナローステップ機を相手にするときに使用します。
14:SHIFT	レピーターシフト方向：0 / - / + 0(ゼロ)を指定するとシフトしません。
15:OFFSET	レピーターシフト：0-69.995MHz シフト幅を周波数で指定します。
15:DISP	メモリーディスプレイ：FREQ / CH メモリーモード時の表示を "周波数 / チャンネル番号" のいずれかに指定します。

レピーター設定	レピーターの設定は下記の通りです TX-Codeを 88.5Hz、SHIFTをマイナス、オフセットを5MHz、受信周波数をレピーター周波数に合わせます
その他	バッテリー消費やトランジスタへの負担を減らす為、極力LOWパワーで使用することをお勧めします。 HIGH(約2W)でもLOW(1W)でも通話距離にはあまり影響いたしません。
Note	

### 指定無線設備の購入の皆様へ

- 指定無線設備を使用して無線局を開設するには無線局の免許が必要です。  
指定無線設備とは、次の周波数の電波を送信に使用する無線設備をいいます。  
◇26.1MHzを超え28.0MHz未満又は889MHzを超え911MHz未満  
(不法市民ラジオ又はパーソナル無線が多発する周波数)  
◇144MHz以上146MHz以下又は430MHz以上440MHz以下  
(不法アマチュア無線が多発する周波数)  
(中略:本機に合致しないため除外規定を削除)
- 無免許で無線局を開設した場合には電波法に定める刑罰に処せられます。  
無線局の免許がないのに、無線局を開設した者は、電波法により  
1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられます。(電波法第110条第1号)
- 免許を受けるには免許申請が必要です。  
無線局の免許を受けるには、免許申請書を管轄の総合通信局に提出して、免許の申請を行う必要があります。

本機をアマチュア無線機として利用する場合は従事者免許と無線局の免許が必要となります。

**重要**